

# 神の導きに感謝

社会福祉法人 大阪YMCA福祉会 理事長 松岡慶一

「主は人の一歩一歩を定め、御旨にかなう道を備えてくださる。」  
旧約聖書詩編37篇23節

少子高齢化社会を迎えて、大阪YMCAは「高齢の方々には可能な限り温かく幸せな生活を過ごして頂くことを願って、高齢者福祉の働きに取り組むことを決議しました。そして1997年3月19日にサンホームの竣工式を挙行し、特別養護老人ホームの働きが開始されました。創立10周年を迎えて、ここに感謝礼拝及び記念式典を催すことができました。先ず、サンホームを産み育ててくださった大阪YMCAの役員、スタッフ、関係者、そして後援会の皆様に心よりの感謝を申し上げます。

また、家族として共に生活している東YMCAと河内ワイズメンズクラブの皆様へ感謝いたします。数多くのボランティアの皆様が私たちを支えておられます。ありがとうございます。そして何よりも直接利用者の方々や関わっているスタッフの皆様が献身的な働きを続けてくださっています。深甚なる感謝をささげます。急激に進む高齢化や福祉制度の改正等、私たちの前途には様々な困難がありますが、神さまが進むべき道を用意し、守っておられることを信じて皆様と共に歩んで行きたいと存じます。今後とも一層のご支援をお願い致します。

## Y M C A サンホーム10周年記念特集

### とも一歩む

2月25日(日)、YMCAサンホーム10周年記念式典を、総勢200名の参加を得て開催いたしました。

記念礼拝では、松岡慶一理事長よりメッセージを頂きました。また、社会福祉奉仕賞が16



### インタビュー

#### 岡田仁作さんに聞く

(サンホーム入居者)

岡田さんは戦後、十三で男性洋品店を営まれ、青年会の会長など地域で活躍されていきました。戦後の混乱期の中、食糧難などの困難もありましたが、青年会など地域でチームを作り、草野球やビリヤードを楽しんでいました。俳句に出合ったのもこの頃で、俳句の集いに参加し、造詣を深めていかれたそうです。俳人、山口哲子の弟子とともに俳句集『白亜』を編集され、俳句の師匠としても弟子をとり活動されていきました。数年前までサンホームにおいても地域の方と集い、俳句の会を開催されていきました。

名の方々に授与され、創立時からの入居者やご家族も参加され、ともにお祝いをいたしました。

慶祝イベントでは、河内ワイズメンズクラブ提供で、岩本節子さんによるシャンソンコンサートを開催しました。「バラ色の人生」、「愛の讃歌」等全11曲を披露され、華麗で力強い歌声に酔いしれました。次に、東大阪市若江中学校吹奏楽部43名による迫力のある演奏が行われました。童謡や時代劇曲では、参加者の方々が演奏に合わせて唄を歌われ、手拍子も響き、自然に会場が一体となりました。入居者の方も、足を上下に動かしリズムをとって、「あの子たち、上手やね」と演奏を楽しん

でおられました。記念写真撮影後のパーティーでは、和洋折衷で色とりどりのメニューをサンホーム食生活部職員が用意し、海の幸のカクテルゼリーはあつという間になくなり大好評でした。おいしい料理を囲みつつ、歓談に花が咲き、和やかな雰囲気の中に散会となりました。

多くの先輩が築いたサンホームは、ここに10周年を迎えることができました。今回の式典も、ともに歩んできた多くのボランティアや多世代の方々のご奉仕によって開催することができましたことに、心より感謝申し上げます。(稲毛延香・サンホームスタッフ)

## 写真で見るサンホーム10年



サンホーム竣工式



第1回らくらく登山



東大阪市福祉施設合同運動会



お花見



らくらく介護連続セミナー開催



YMCAサンホーム5周年



レインボークラブ(障がい者外出支援)



敬老祝賀会



転倒予防体操



デイサービス日帰り旅行(天王寺)

ことなく日々の生活を俳句に詠みこんでおられます。たくさんある中で五句選んでいただきました。

▼岡田さんのお気に入りの三句  
空蟬の 転ぶ土偶の ひと欠片  
海の蝶 もはや戻れぬ 距離にあり  
噴水の アト道花師の 居場所かな

▼ご自身の人生を詠んだ一句  
揚羽蝶 翔つや無風の 垺塙かな

▼10周年を迎えたサンホームでの生活を詠んだ一句  
サンホーム 我に幸あり 終着駅

岡田 仁人

「サンホームでの生活は楽しい事ばかり、昔はよくみんな外出したもんだ。スタッフもよくケアしてくれているし、何も言うことはないよ」と言っていた岡田さん。「何かしたいこと、して欲しいことはないですか?」と尋ねると「娯楽の時間があったらなあ。読書が好き

で部屋で読み返したりしているけど。みんなで俳句を...と思うけどなかなかできるものではないし。昔は碁・将棋をやったからそんな趣味ができればなあ」とのこと。活動的に生きられる岡田さんに少しでも寄り添えるよう、今回のインタビューを終えて、まずは将棋クラブの会員を集めようと思いましたが、岡田さん、貴重なお話をありがとうございました。ごさいました。

(聞き手:石川慶子・サンホームスタッフ)

### ボランティアと共に

YMCAサンホームは、地域ボランティアによる支援の輪を広げ、実施している地域奉仕活動も数多く行っています。「車椅子らくらく登山」(車椅子の方と生駒らくらく登山道をハイキング)、「レインボークラブ(肢体不自由児者への外出支援)」、「ふれあいサロン(独居高齢者支援)」、「喫茶ボランティア

ア」等。これらの活動には、地域の小学生から高齢者まで、多世代にわたるボランティアが関わってきました。YMCAサンホームでは、高齢者支援施設として

様々な福祉サービス事業を行っています。「自分のいのちとみんなのいのちを大切にすることのできる健やかな心をもつ人を育む」ことを願い、使命としています。

### サンホーム10年の歩み

YMCAサンホーム	
1997年	特別養護老人ホーム「サンホーム」を開所し、社会福祉事業を始める。(併設事業デイサービス、ショートステイ、在宅介護支援センター)
1998年	第1回車椅子らくらく登山(大阪河内ワイズメンズクラブ主催) 第1回サンサン祭り(夏祭り)
1999年	ヘルパーステーション本格的に開始(1月) ケアプランセンター開所(10月)
2000年	介護保険制度スタート 施設ボランティア養成コース
2001年	施設オンブズマン活動開始 地域高齢者のつどい「ふれあいサロン」実施
2002年	サンホーム5周年 東Yまつり開始 介護予防をテーマとした「学んでイキイキ健康生活セミナー」(全10回)
2003年	レインボークラブ(障がい者外出支援)開始 わいわいキャンプ(高齢者と子どもの交流)
2004年	東大阪市ふれあい祭り参加 認知症高齢者キャンプ(大阪府青少年海洋センター)
2005年	東大阪市デュアルシステム(高校生職業体験カリキュラム)の受入 日帰り旅行(琵琶湖、奈良公園、海遊館、久宝寺緑地)
2006年	地域包括支援センターサンホーム開設 介護予防事業開始(デイ、ヘルパー、ショート)
2007年	サンホーム10周年(大阪YMCA創立125周年・東YMCA35周年)